

西川 コミュニティだより

第65号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和8年3月26日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

求む！「#コミ協活動への参画」

西川地域コミュニティ協議会会長 八百板 勲



昨年の定期総会でご承認をいただき、西川地域コミュニティ協議会（以下西川コミ協）の会長に就任し一年が過ぎました。地域の皆様のご理解とご協力により、無事令和七年度の事業を終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

毎年の定期総会では、各自治会の代表の方のご出席が中心となります。今号の「西川コミュニティだより」で、紙面にはなりますが、会長の立場になって、この一年の中で気付いたこと、西川コミ協の厳しい現状を地域の皆様にご説明できればと考えております。

コミュニティは辞書的には「居住地域を同じくし、利害をともしする共同体。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきを持つ共同体。地域社会。」（デジタル大辞泉より）と地域的な存在として定義されています。

私はそれに加えて、地域における相互支援ネットワーク的な役割、つまり困ったときに支え合い、役立つ情報を得られる情報交換の場、住民間のコミュニケーションを通じて、地域の問題解決や協力関係を築く場としても重要な役

割を担っていると思います。しかし残念ながら、今の私たちの毎日の暮らしでは、コミュニティを意識することはあまりありません。

相互支援ネットワークは「もしものとき」に備えての保険ですから、「もしものとき」が来ない限り、ずっと「支援の持ち出し」になります。「出した分だけはきっちり回収したい」というような「合理的」な「過度なコスパ・タイパ思考」だけでは相互支援ネットワークは作れません。

地域の活動では、合理的に考えてしまい過ぎると、その多くの活動は無駄なものともなされるようになり、コミュニティや相互扶助は衰退し、最終的には崩壊してしまうでしょう。

西川コミ協には五つの部会や、三十五の加盟団体があります。可能であるならば、少しでも興味を持てるのであれば是非、部員や実行委員などに加わり、コミ協の活動に参画してみてください。

過度なコスパ・タイパ思考をひとまず脇に置いて、地域の問題を「他人事」では無く、「自分事」と捉えて、時間を割いて、コミ協の活動に参画してみてください。コスパ感覚では味わうことが出来ない達成感がきつと待っていると思っています。

2026年 和室をリニューアルしました

・床をカーペット張り ・座卓からテーブルに ・椅子を32脚
30名くらいの会議もできます。是非、ご利用ください



ご不明な点はいつでもお問い合わせください

TEL:0256-88-5900 FAX:0256-78-7544

★利用時間帯と利用料金

施設名	利用料金		
	午前 (9:00~13:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~21:00)
会議室	500円	500円	500円
和室1	700円	700円	700円
和室2	700円	700円	700円

※飲酒を伴うご利用の場合、別途1,000円が加算されます。

西川SHOOTING☆STARS

SHOOTING☆STARS (中学生女子) は中学校部活動の地域移行に伴い、昨年7月から活動を行っています。

地域クラブとして西川中学校だけでなく、巻、月潟、赤塚の部員も一緒に楽しく練習しています。出来立てのチームなので初心者も大歓迎です。

○練習日・時間・場所

月・金曜日/19:00~21:00

西蒲高等支援学校体育館

毎月第1・3金曜日(女子)/19:00~21:00

火曜日/17:00~18:30

西川中学校体育館

土曜日/

9:00~11:30

西川中学校体育館

○部費

月額2,000円



○問合せ 前山 誠志 (090-7522-3816)
櫻井 亮 (080-5406-1548)

西川緑の音楽祭&さくらマルシェ2026

桜と、澄み渡る青空。西川ふれあい公園が、一年で最も華やかなステージに変わります。音楽祭は4月11日・12日の2日間。11日はJ-POPやJAZZ、力強いゴスペルから、篠笛や二胡の心に染みる音色、そして洋楽まで、ジャンルを超えた音楽が会場を満ちます。12日は弾けるキッズダンスや優雅な舞踊が彩りを添えます。マルシェではキッチンカーやフリマも勢揃い。春の風を感じながら、特別な休日をご過ごしませんか。

日時 令和8年4月11日(土)・12日(日) 10:00~16:00 場所 西川ふれあい公園

- 4月11日(土)
多彩な音楽に触れる一日。J-POP、JAZZ、ゴスペル、篠笛、二胡、洋楽など、地元ミュージシャンや高校生バンドが競演します。
- 4月12日(日)
躍動感あふれるパフォーマンスの日。キッズダンス、舞踊、フラダンス、DJステージが会場を盛り上げます。
- マルシェエリア
人気のキッチンカーや屋台、掘り出し物が見つかるフリマ、昔ながらの子どもたちの遊び場、シャボン玉体験もあります。



満開の桜とともに、皆様のご来場をお待ちしております。
※音楽祭は雨天の場合、体育館やだいの家等での実施となります。

【消防署だより】 春は乾燥！火の用心

西蒲消防署西川出張所長 樋口 博之

春は空気が乾燥し、風が強い日も多いため、火災が拡大しやすい季節です。

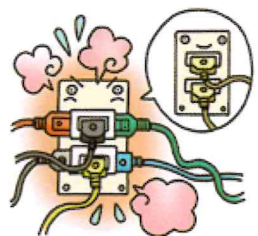
火災がひとたび発生すると周囲の乾燥した物に燃え移り、大きな火災になります。

新潟市消防概況によると、昨年1年間の火災出動件数は、164件でした。前年と比べ21件増加しています。救急出動件数は、46,542件でした。前年と比べ73件増加しています。

火災の主な原因は、電気関係が最も多く、次いでたばこ、こんろの順となります。電気関係が原因の火災は、近年増加傾向にあります。使わない電気機器のコードは、コンセントからプラグを抜いてください。テーブルタップでは、タコ足配線とならないようにし、定格容量を守りましょう。電気機器や配線に損傷や変形があれば使用はやめましょう。

また、この時期は、山火事(林野火災)も全国的に多く発生しています。たき火や野焼きの火が風にあおられ、拡大する事例も少なくありません。空気が乾燥した日は、屋外での火の使用を控えましょう。

春は火災が拡大しやすい季節です。火の取り扱いには十分注意し、火の用心を心がけましょう。



ジュニアクラブ紹介

今年こそ興味のある事にチャレンジしてみようか、挑戦させようか、と思っている人にジュニアクラブを紹介します。お問い合わせしたり、できれば見学、体験などして見てください！

西川ジュニアベースボールクラブ



西川地区で曾根、鑑郷、升湯の生徒でメンバーを構成している野球チームです。下は1年生から6年生まで28人います。女の子も4人いて頑張って練習に参加しています。楽しいチームですので気軽に練習に参加してみてください。

- 練習日・時間・場所
4月～10月まで
毎週火曜日/19:10～21:00
鑑郷小学校・西川球場
土・日・祭日/8:30～12:00
西川中学校
- 会費
月2,000円
- 問合せ 桑原
(090-4025-7596)

西川FC



▲練習後の汗びっしょりの様子
私たち西川FCは、2001年から活動しているジュニア年代のサッカーチームです。現在、約40名ほどの団員が所属し、小学生・保育園児を募集しています。保護者会はありませんので、送迎のみご協力をお願いします。

- 体験・見学いつでも可能です。Instagramで普段の活動の様子をご覧くださいませ。
- 練習日・時間・場所
毎週月・木曜日/19:15～
土曜日/13:00～
西川体育センター・鑑郷小学校
- 会費
・保育園児 無料
・小学生 月1,000円
- 問合せ 毛島 貴幸
(090-4710-6286)

西川SHOOTING☆STARS



西川SHOOTING☆STARSはU12世代(小学校6年生以下男女)のミニバスケットボールチームです。男女とも新入部員募集中。体験入部・見学も随時可能です。西川地区以外の方も入部大歓迎。(巻・漏東・赤塚の部員もいます)

- 練習日・時間・場所
月・水曜日/19:00～21:00
曾根小学校体育館
毎月第1・3金曜日(女子)/19:00～21:00
曾根小学校体育館
毎月第2・4金曜日(男子)/19:00～21:00
鑑郷小学校体育館
土曜日 女子/13:30～16:30
男子/18:30～21:00
曾根小学校体育館
- 部費
月額1,000円
- 問合せ 前山 誠志
(090-7522-3816)

代官太鼓鼓調



西川まつりでのふれ太鼓・越後西川時代激まつりなど、地域のイベントに出演。「ドンドンドコドコ」「ワッショイワッショイ」元気な子どもたちと一緒に頑張っています。

- 練習日・時間・場所
第2土曜日と第4火曜日、午後7時から西川学習館講堂で練習しています。いつでも見学にきてください。大歓迎です。
- 問合せ
代表 笠井 (090-4815-4906)

西川リトルスワンバレリーナ

クラシックバレエを、優しい先生と楽しくわかりやすく学んでいます♪

- 練習日・時間・場所
毎週金曜日
幼児～小学生/18:00～19:00
小学生高学年～大人/
19:00～20:00
西川学習館



- 無料体験会を開催します！
令和8年
5月15日(金) 18:00～20:00
5月22日(金) //
汗をふくタオルと水分補給の飲み物をお持ちください。
練習着、シューズは貸出有ります。
※興味がある人は、見学や体験に来てくださいね！
(要事前連絡)
- 問合せ 代表 玉木 (090-3086-8619)
すぐ出れない場合もありますので、留守電に入れてくださると助かります。

西川地区青少年育成協議会

会長 笠井 敏夫

安心安全部に属しています。
本年は、地区3小学校への啓発用品配布や、10月27日～30日、朝の登校時、各学校の校門前での「あいさつ運動」を実施しました。青少年の健全育成を推進するために、関係団体と連携し活動しています。

ボツワナでの二年間

元鑑郷小学校教員 井口 昭夫



孤児院での算数授業

今回は、アフリカで過ごした二年間を振り返ります。私は、「日本式計算にフォーカスした算数」を小学校の各クラスで教えていました。村の学校は九五〇人も大規模学校でしたが、全てのクラスで授業を行っていました。最初は、英語でどのように教えてよいか四苦八苦していましたが、最後は先生方に研修会を開いたり、貸出し用の計算ドリルを全校児童に配付したりと、自分の活動には満足しています。他にも、孤児院の子ども達に読書用の本を集めて寄付したり、孤児院で算数の授業を開いたりもしていました。また、近所の子ども達にも週末、日本式の計算方法を教えていました。彼らの小さく粗末な家には、電気も水道もありません。台所もトイレも外に設置されていました。ボツワナにはこういう貧しい人たちがたくさんいます。

次に「二年間の思い出、ベスト3」を紹介します。第三位は「儀式殺人の犯人に間違えられた事」です。ボツワナでは年に数回、自分の運気を上げるために、子どもを誘拐して殺害するといった事件があるそう

です。それに巻き込まれてしまいました。さすがに大勢の村人に囲まれたときは恐怖でした。第二位は、「エチオピア航空との闘い」です。赴任の際、アジスアベバで私の荷物の紛失がありました。帰国した今もChatGPTと一緒に航空会社とメール等を通じて戦っています。補償を勝ち取るためです。現地では多くの時間を事務所に出向いて、何度も話し合いをしてきました。第一位は「これからもずっと関わっていきたいと思える大切な友達と出会えた事」です。今でもインターネットで連絡を取り合っています。番外ですが、同じく第一位と同じくらい思い出に残っているのは、「多くの野生動物に出会えたサファリと世界遺産（「ビクトリアの滝」



世界遺産のビクトリアの滝

しい思い出になりました。

最後に二年間で学んだことです。まずは「炊事・洗濯・掃除」です。ボツワナで暮らした経験は、世界中どこでも暮らすことができるという自信に繋がりました。また現地の方と関わりながらの仕事を通して、「ハードルの下げ方」を学びました。現地には現地のやり方や習慣、考え方がありま

クトリアの滝」「オカバンゴデルタ」を妻や日本の友達と訪問したこと」です。一生忘れることができない素晴らしい素晴ら

す。私がいくら万全に準備しても、決して私が期待するようにはなりません。最初は失望したり、腹を立てたりしていましたが、ですが、最初から期待値のハードルを下げておくのです。「うまくいかなくて当たり前！」です。そうすると、「ドンマイ！」で納得できます。もう一つは、「小さな幸せを発見する感性が身についた事」です。「水道水が白く濁ってない」とか、「今日も抜けるように綺麗な青空だ」とか、「洗濯物がよく乾く」……。豊かな日本に比べると、ついつい当たり前で慣れてしまい、感謝もしないことばかりです。



サファリでの夕焼け



世界で一番安くできるサファリ

ボツワナの協

力隊に挑戦して本当によかったです。もしアフリカの話をお聞きしたかったら、いつでも声をかけてください。喜んで話をしにいきます。



送別会で集まってくれた友達

【地域・文化】

「復活下山さいの神」から40年目におもう

高橋 信

今年の下山さいの神は、「廣井茂道氏をはじめとする有志の方々が中心となって復活させてから40年目」となる節目の年に当たっていた。下山集落では、今回も老若男女で連携・協力しながら、「わら集め」、「トバ編み」、「竹の切り出し」、「さいの神の塔作り」、「ふるまいの準備」等々を行い、当日に備えた。

撮影・写真家 木間悠介氏1月11日のさいの神当日は、40年前のように前日からの強風と降雪に見舞われたため、開催が危ぶまれた。しかし、「さいの神実行委員会」、「育成部」、「長栄会」、「消防団」、「有志」など、皆さんの献身的な取組が力となって開催にこぎつけた。天も味方した。

泉上寺住職廣井拓真氏から読経をいただき、「無病息災」「家内安全」等を祈願した。有志提供のビニールハウスの中では、「ふるまい」に舌鼓を打ちながら旧交を温めるとともに、新たな交流の輪も広がった。今は亡き廣井茂道氏をはじめ、当時の有志の方々に、よい報告ができたとの思いを強くするとともに、下山さいの神実行委員長安藤雅一氏をはじめとする、関係各位の結束の固さと行動力のすばらしさを実感した。



撮影：写真家 木間悠介氏

【地域・文化】

育てていただいた10年、これからも

ハーラウフラカライエ
松本 奈美子



地域の皆さまに温かく見守られ、支えていただきながら、このたびおかげさまで10周年を迎えることができました。日々の活動を通して、たくさんのお会いや学びに恵まれ、ここまで歩んでこれたのは、地域の方々お一人おひとりの存在とイベント出演のご依頼があつてこそと心より感謝しております。

これからもフラを通して、世代を超えた交流や、心と身体が健やかでいられる時間を皆さまと分かち合っていきたいと考えております。これからも地域の一員として、つながりを大切にしながら、笑顔と健康のために活動を続けてまいります。フラが持つ『Aloha』の心を大切に、明るく楽しい場づくりに努めてまいりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【地域・文化】

社会福祉功労者表彰を受けて

西川おむすびの会

昨年11月24日に、新潟ユニゾンプラザにおいて、社会福祉に貢献のあった団体及び個人に対して、新潟市社会福祉協議会から令和7年度の表彰式が行われました。私達「おむすびの会」は会員男女概ね70人で長年にわたりご高齢者のお宅に、週一回に概ね70食の昼食を作り、配食お届けをしています。

これらのことが認められ、栄えある表彰を受けたものと会員皆で喜んでいきます。

なお、当日は9年以上の長きに亘り民生委員児童委員として関与され功労のあった者として、次の方々も表彰を受けられました。川崎団地にお住いの赤川弘毅さん、浦村にお住いの小川春男さん、横島団地にお住いの田邊玲子さんの3名です。大変おめでとうございます。

いつもまごころ込めたお弁当ありがとうございます



いつもお弁当の配達ありがとうございます



(写真：令和7年12月26日 西蒲区社会福祉協議会)

【郷土史料】大切な郷土史料①
善光寺生まれの渡辺更響

西浦・曾根郷ゆかりの文人研究会

更響こうきょうは本名常蔵つねぞう(二八九七〜一九四五)。善光寺で材木商を営む渡辺太蔵の四男。家業をつぐために新潟市内の材木店に奉公していたが、生来画を描くことが好きで、ほどなくして実家に戻り兄の家業を手伝うようになった。

当時、画家で身を立てるなどは一般に難しい時代で、家族は反対した。しかしある時、本家の親父がやってきて、偶然常蔵が描いていた「月夜の不如帰」作を目の当たりにして大いにほめ、好きな画道を目指すよう家族を説得、ようやく画の道が開けたという。

いくつか雅号(サイン)の変遷がある。

- ①常三 本名の常蔵にちなみ自分で付けたと思われる。遺作は少い。
- ②新研 小学校卒業後、用いる。新しいものを研ぎ出すという、若者の抱負が感じられる。
- ③大華 地元の田園風景や海岸写生図など、真景描写を題材とした作が残るが、やや重苦しい雰囲気強い。ここまでは独習時代である。
- ④竹山 上京して同郡出身の著名画家・尾竹竹坡(二八七八〜一九三六)に学ぶ。作風

は一変しモダン化して色彩は明るくなるが、東京生活は苦しかった。

- ⑤更響 三十歳前後、花鳥画の名手・田村彩天に師を変えた。今日見られる更響作の大半は花鳥を題材にした繊細で静かさの漂うものだが、このような嗜好は転師以降に磨かれていったのだろう。

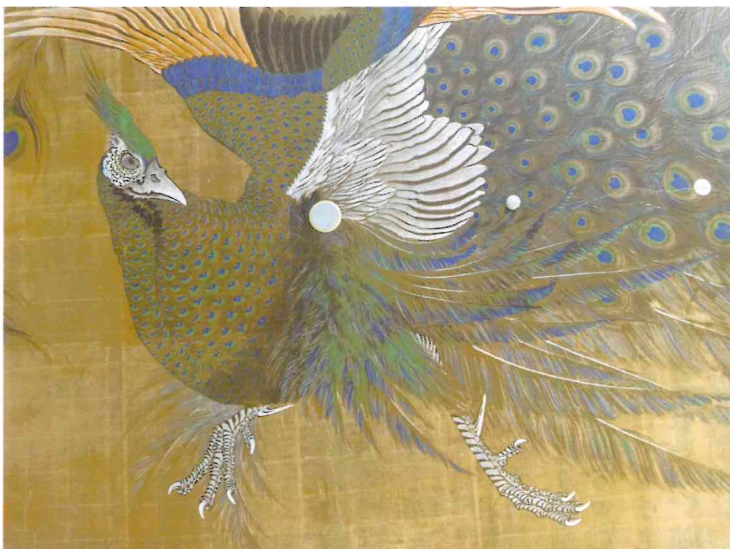
珍しい資料として大正末期から昭和十六年分のスケッチ八冊があった。これによると東京から昭和五年(一九三〇)三十三歳までは、曾根に帰郷していたと推定される。また近郷の赤塚の素封家・中原藤蔵と仲がよく、晩年一緒に登山に出かけた時の写生も残る。遺作は旧町内の個人蔵の他、曾根神社や善光寺にも伝わる。挿図左は旧巻町の割烹・波勢屋の天井絵として昭和十二年(一九三七)四十歳時に描かれたものである。西川図書館内にこのような超巨大な孔雀図と鷹図があるものの、机に向かう人ばかりで見上げる人が少ないのは残念。

以上はかつて更響の兄・文平の子の秀太郎、更響のご子息・宏平両氏からうかがった話を中心にまとめたもので、今ではこれ以上のことを知るのには難しい。志を抱き名家に学び、必ずしも生活が安定しない中、数回ペンネームを変えつつ四十八歳の短い生涯を画家として生きた人物が当地に出たことを改めて銘記したい。

◁かつて地酒ラベルに用いた
猩猩図



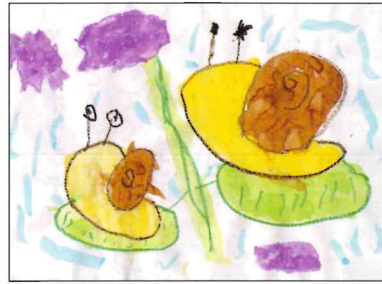
◁西川図書館に寄贈された
孔雀図



【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ④①

ガンバって かいたよ！



曾根おひさまこども園

「かたつむり」

可愛いかたつむりの
親子をかいたよ。
あじさいや雨も上手に
描けたよ。

四歳児(こあら) 武田 凌空

「さかな」

いろんな魚や貝など
海の生き物を描いたよ。
白色で泡を描いて
楽しかったよ。

四歳児(こあら) 清田 明灯



「ハロウィン」

おばけかぼちゃ
おばけ、こもりを
描いたよ。空の色を塗る
ところが楽しかったよ。

四歳児(こあら) 石田 琉唯



【コミュニティセンター講座案内】

西蒲区でゴスペルソングを歌おう！

篠原 たかね

ゴスペルソング、みなさん知っていますか。
聖書の言葉が歌になったものです。
1990年代に映画「天使にラブソングを」
をご覧になった方はシスターたちが元氣よく
歌う姿を覚えていませんか？ 映画をみ
て楽しそうだし、興味はあるものの、譜面読
めないし、英語も苦手。ゴスペルソングは歌
詞カードだけ。みんな耳で聞いて覚えます。
参加者のレベルもまちまちですが、一緒に
助け合って賛美するのもゴスペル合唱の醍醐
味。老若男女一緒に練習しています。初心者
の方は上手な方の歌声を聞くことで上達も早
くなります。見学も自由ですので、ぜひ一緒
に歌いましょう。
近いうちにステージデビューもできますよ。
練習は月2回、場所が変わるのでご連絡い
ただけると助かります。



お問い合わせ

instagram

@takane.shinohara



TAKANE.SHINOHARA

【歴史・文化】

句集「桜並木」 畠山典子パート1

今号より西川地区在住の畠山典子さんの
俳句作品を紹介する。ご出身は栃木県、新
潟大学卒業後、県内各地の小学校に勤務さ
れ縁あって曾根に嫁がれた。新潟市立関屋
小学校校長を最後に退職され、幼稚園長や県
・市の行政職の長なども歴任された。その
間、新潟日報新聞の俳句欄にも度々作品が
掲載された。また指導者は、これまでも適
切なアドバイスを頂いた巻在住の寺尾亜真
李先生にお願いした。

梅開く 体育館の 声高く

【大意】

早春。寒気はなお厳しい
が、私の通っている西川体
育センター近くの梅の花が
咲いた。何とまあ清らかな
香りを放っていることよ。ス
ポーツを楽しむ人たちの
元氣な声が、体育館に高ら
かに響き渡っているなあ。



※屋外の梅の花と屋内の人の声が

呼応していて、雪国に訪れた春への賛歌

(次号へ続く)

【図書館】

西川図書館のボランティア紹介

新潟市立西川図書館 司書 野上 三奈

西川図書館では、読み聞かせや、配架、美化などたくさんの方のボランティアが活動しています。今回は、次の2つのボランティアを紹介します。

○配架・書架整理ボランティア

本の背表紙のラベルに印字された数字やカナに従って本を棚に戻したり、正しい場所に本を並べたりするボランティアです。この活動は、段取りを考えて館内を行き来するため運動にもなり脳にも体にも効果があります。そして何ととっても新たな本との出会いがあります。ほとんど毎日活動される方、時間を作って来てくださる方と様々ですが、一緒に図書館を盛り上げてくれる大切な存在です。

○美化ボランティア（ぼすとのおばさん）

こどもたちからのおてがみに丁寧な返事を書いてくださるのが「ぼすとのおばさん」です。中には丸や線だけのおてがみもありますが、「じょうずに書けたね」など心のこもったお返事をくれます。あたたかな交流の場となっています。



【公民館主催事業】

公民館事業について

西川地区公民館

公民館では、公民館（西川学習館）や西川多目的ホールを会場に、各種講座やコンサート、映画上映会などを開催し、皆様からご参加頂いています。

「楽学カレッジ」では、楽しく学ぶことをコンセプトに、スマホ講座、ミニ野菜作り講習会、干支飾り作り講座を開催しました。「キッズ倶楽部」では、小学生以下の子供向けに様々な体験活動の場を提供し、小学校では和太鼓体験など、また夏・冬休みにはアニメ上映会や学習室の開設、3月には「親子レクリエーションバイキング」を開催しました。音楽や芸術に親しめる「ピアノコンサート」など様々なステージを開催。「映画上映会」では、「女優・樹木希林」など評判の映画を上映しました。「歴史・文化講座」は地域の歴史や文化の理解を深め郷土愛を育めるものです。

また「西川さわやか健康クラブ」では、楽しみながら運動不足解消や仲間づくりを目指した軽運動やレクゲームなど、年間20回開催しました。

令和8年度も映画上映会やコンサート、各種講座などを予定しております。開催日時や内容等、町内会回覧チラシや区役所だよりなどでお知らせしていきます。皆さまのご参加やご来場をお待ちしております。



おめでとーございませう

(敬称略順不同)

令和7年度

新潟市社会福祉協議会社会福祉功労者表彰

◆第3号表彰 おむすびの会

◆第1号表彰（10年以上関与）

西川地区民生委員児童委員協議会 赤川 弘毅

西川地区民生委員児童委員協議会 小川 春男

西川地区民生委員児童委員協議会 田邊 玲子

同 西蒲区社会福祉協議会功労者表彰

◆第3号表彰 おむすびの会 多田 清

◆第1号表彰（6年以上関与）

西川地区民生委員児童委員協議会 真島 純子

西川地区民生委員児童委員協議会 野沢奈々重

西川地区民生委員児童委員協議会 七宮 晃

西川地区民生委員児童委員協議会 鈴木 一生

訂正とお詫び 本誌12月号発行の第64号

「幼児教育」曾根おひさまこども園の記事中、園児のお名前に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

(正) 武田 凌空 (誤) 武田 凌久

「おめでとーございませう」第56回 県ジュニア展の「奨励賞」中、お名前の読み方に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

(正) 水澤 怜来(和光幼稚園) (誤) 水澤 怜来

編集後記

▼新年度(令和8年度)の西川地域行事カレンダーと西川コミニティだより第65号を同時に取材・校正中です。毎年2月3月には猫の手も必要となります。援軍が来ないかと、いろんなことを考えますがどれもダメです。

▼本誌の巻頭、会長の言葉に期待し、ジット待つことにしました。チヨット動いてみると、「楽しいコト」「面白いコト」「興味を持てるコト」いっぱい転がっているんです。

【編集委員】◎江端 繁 ○灰野直義 榎本 博 土田正博